

海津市創生総合戦略策定に係るアンケート分析結果

1 アンケートの概要

- (1) 実施期間：平成 27 年 6 月 9 日（火）～22 日（月）
- (2) 対象者：住民基本台帳から無作為に抽出した 15 歳～50 歳の市民計 2,000 人
- (3) 7 月中旬までの有効回答数 623 部（回収率 32%）

2 分析結果

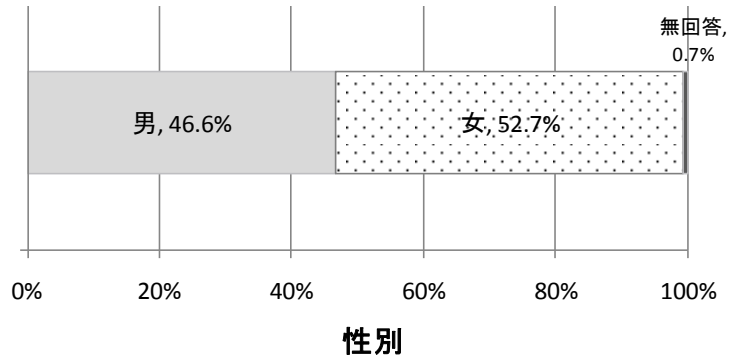
(1) 全体のまとめ

- 海津市の家族構成の特徴として、親・子・孫（3世代）の世帯が比較的多い。また、住居は一戸建て持ち家が 9 割近くを占め、通勤・通学先の約 7 割は 1 時間未満の周辺地域に位置している。長年、本市に住んでいる人が多いものの、本市に「永住したい」と回答している割合は 26.1%に留まり、「住み続けるか転出するかどちらとも言えない」と回答した人が 54.3%を占めた。
- 転入者が海津市を選んだ理由として、「結婚のため」「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」などが多く挙げられた。一方、将来的に転出するとした場合の理由は、「自分自身の仕事の都合」及び「生活環境（交通や買い物の利便性・治安など）」が多かった。
- 海津市で住みやすいところとされている項目は、「緑や田園などの自然環境」「親類が近くにいる」「交通事故や犯罪が少ない」「近所づきあいや人間関係」などが多かった。他方、住みにくいとされている項目として、「交通の便」「買い物が不便」「通勤や通学が不便」などが挙げられた。
- 学生や就職希望者の多くは、現在住んでいるところから通えるところでの就職を望んでいる。就職観については、生活と仕事のバランスや自分の夢の実現を重要視していた。
- 結婚していない人で、「今後結婚したい」と回答した人は 7 割弱を占めた。結婚に際しては、経済的な不安を挙げる人が多かった。
- 理想とする子どもの数は平均 2.35 人、最終的に持つ予定の子どもの数は平均 2.01 人となり、両者の差（0.34 人）は全国の差（0.35 人）とほぼ同じであった。理想と現実のギャップを表す数値といえるが、そこには「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」などを主な理由として、理想とする子どもの数には至っていないと考えられる。また、理想とする子どもの数に近づけるための条件として、「職場における理解や支援」「育児・家事に関する家族等のバックアップ」「育児休業制度の充実」などが挙げられた。
- 目指すべきまちづくりの方向性としては、「若者の定住、就業」「住環境の整備」「子どもを産み育てやすい環境」「だれもが元気に暮らせる保健・医療・健康づくり」「防災、防犯、交通安全対策による安心・安全」などが多く挙げられた。

(2) 各アンケート結果の主な特徴

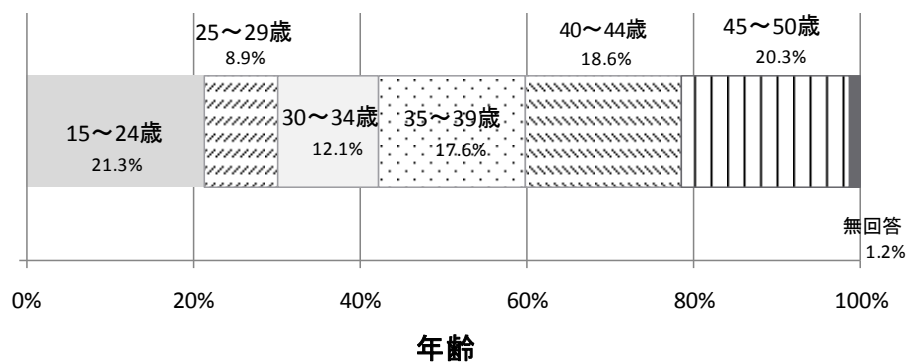
1) 回答者の属性に関する設問

F 1 性別



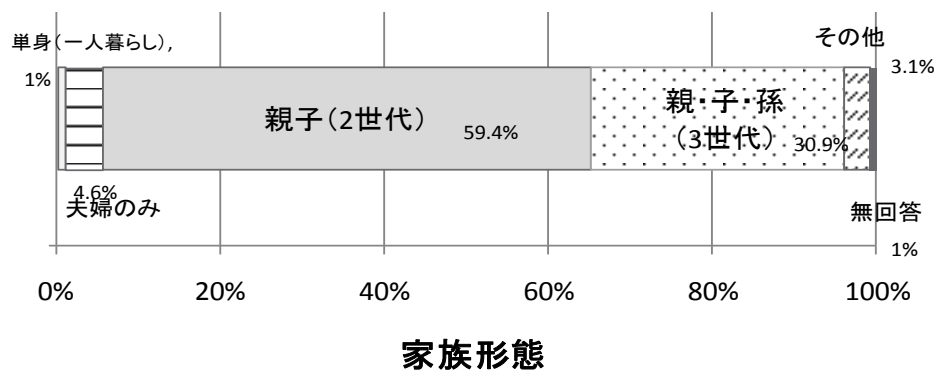
F 2 年齢

回答者は比較的年配者が多く、平均年齢は 34.8 歳であった。



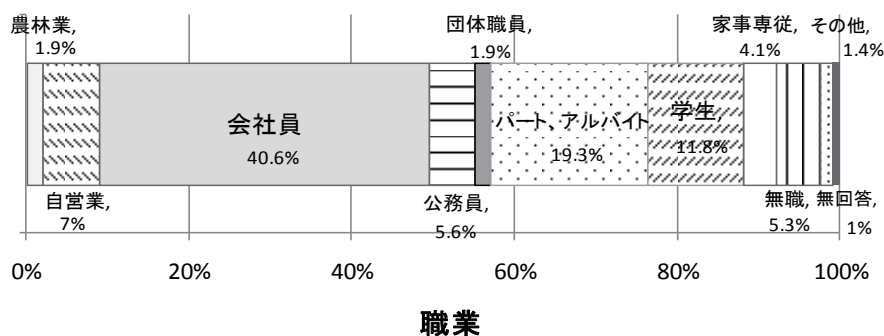
F 3 家族構成

家族構成は親子（2世代）が 59.4%、親・子・孫（3世代）が 30.9%であり、両者で全体の約9割を占めている。



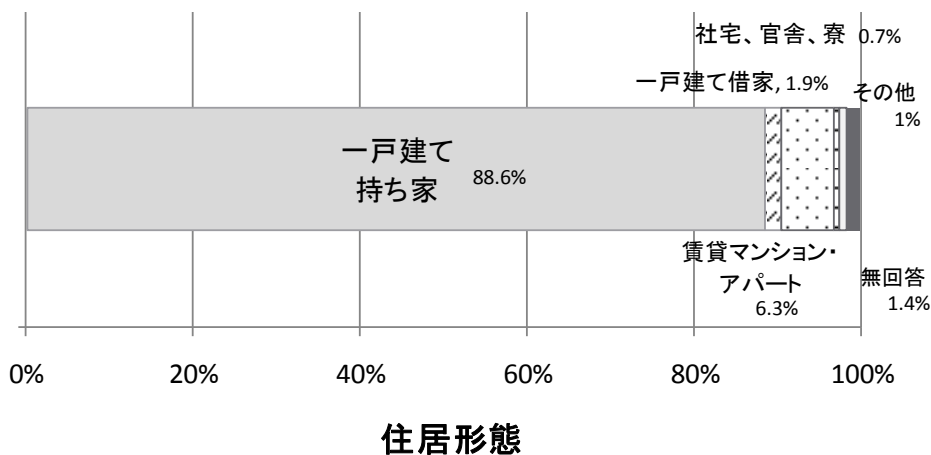
F 4 現在の職業

職業は、会社員、パート・アルバイトなどが比較的多い。



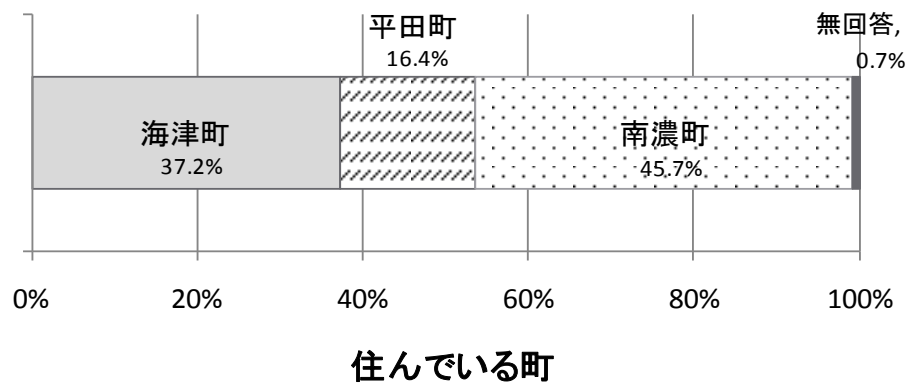
F 5 住居の形態

住居は、一戸建て持ち家が全体の 88.6% を占めた。



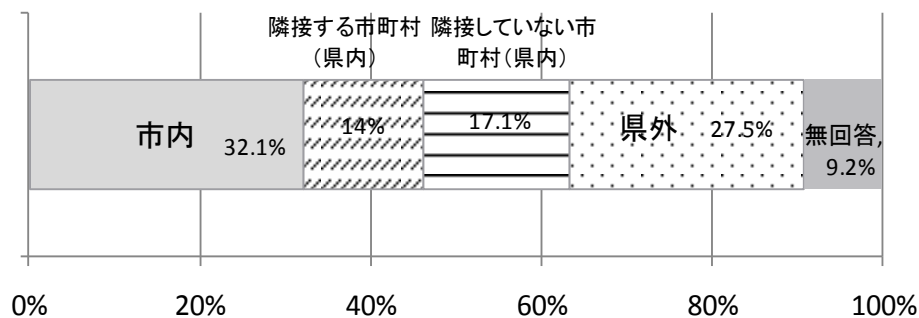
F 6 住んでいる場所

回答者が住んでいる町（海津町、平田町、南濃町）の比率は、町別の人口比率に近い。



F 7 通勤・通学先

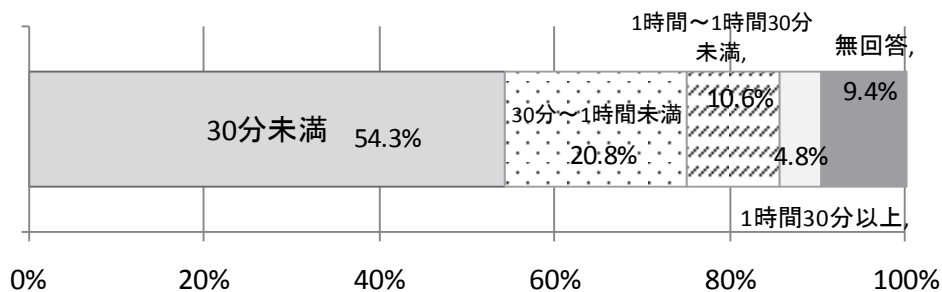
通勤・通学先は、市内が32.1%、県内（隣接する市町村＋隣接していない市町村）が31.1%であった。また、県外が27.5%を占めたが、海津市は愛知県と三重県に隣接していることから、県外の通勤・通学先でも多くは周辺地域であると考えられる。



勤務先、通学先

F 8 通勤・通学時間

通勤・通学時間は、「30分未満」（54.3%）、「30分から1時間未満」（20.8%）の合計が7割以上を占めている。

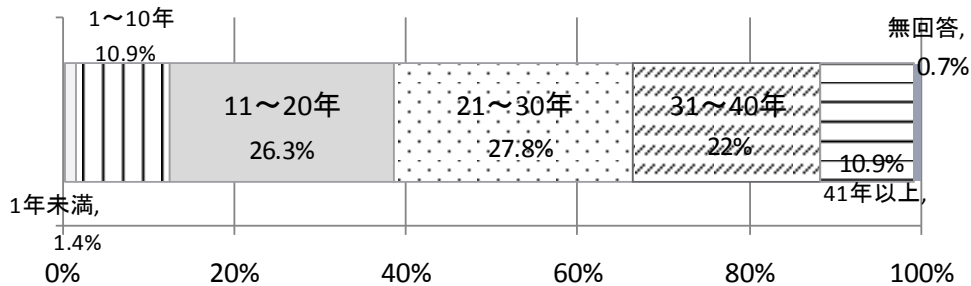


通勤・通学時間

2) 海津市での居住について

問1 海津市に住んで通算何年になりますか。

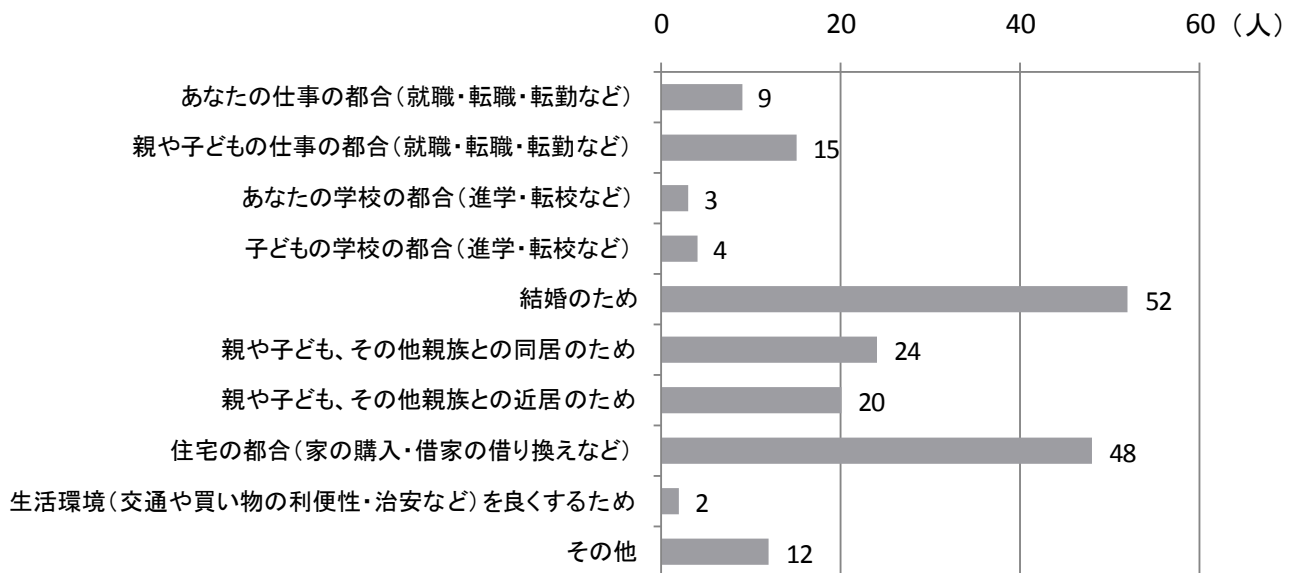
海津市に住んでいる通算年数は、21年以上が全体の約6割を占め、長年にわたって本市に居住している人が多い（平均居住年数は約24年）。



海津市に住んでいる通算年数

問2 海津市へ転入してきた方にお尋ねします。転入の理由は何ですか。

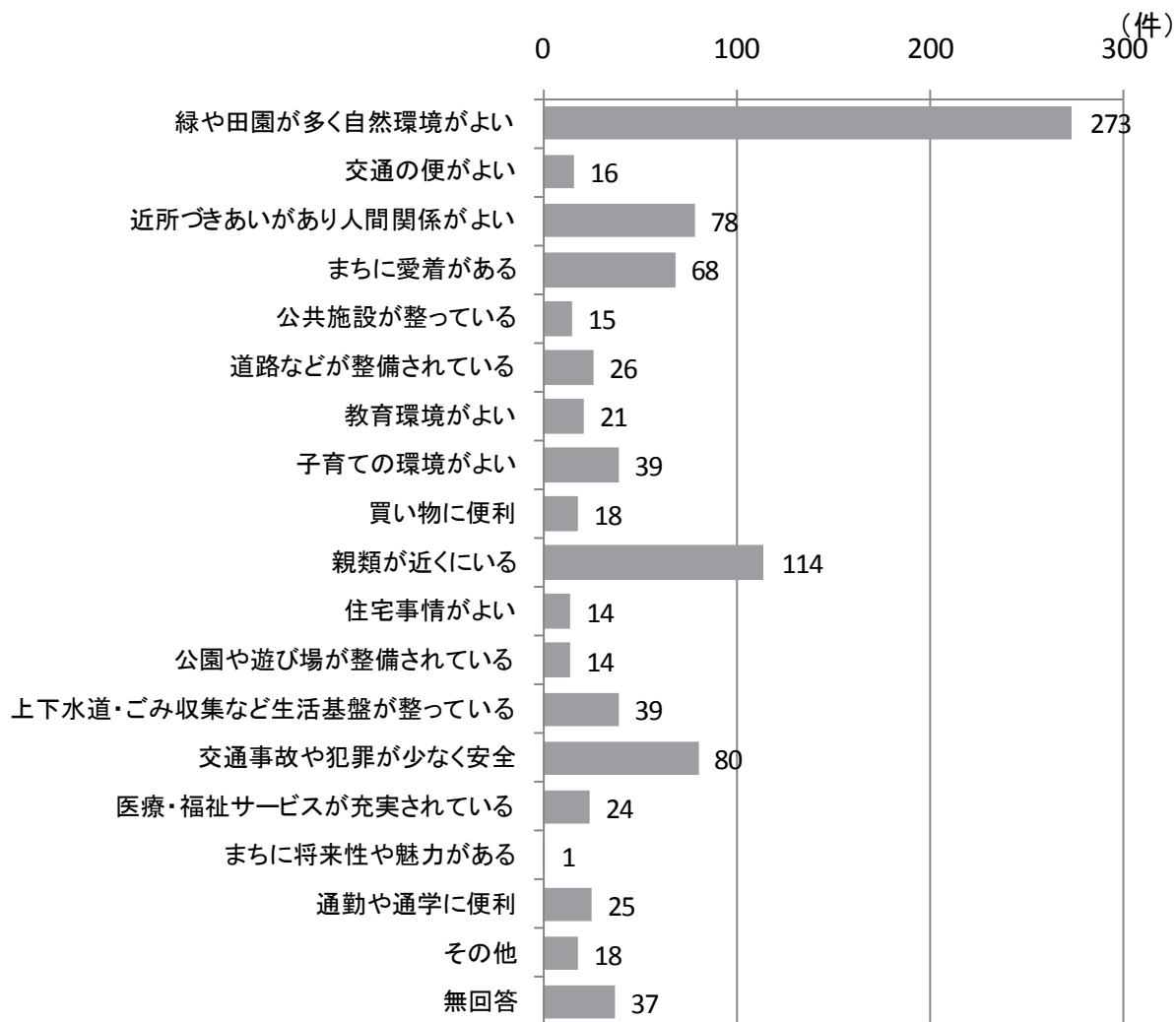
本市に転入してきた理由は、結婚、住居の購入・借り換え、親族に関する事情などの家庭内の理由が多く、学校（進学・転校）や仕事（就職・転勤）によるものは比較的少ない。



転入の理由

問3 海津市にお住まいになって、住みやすいと思うところはどこですか。

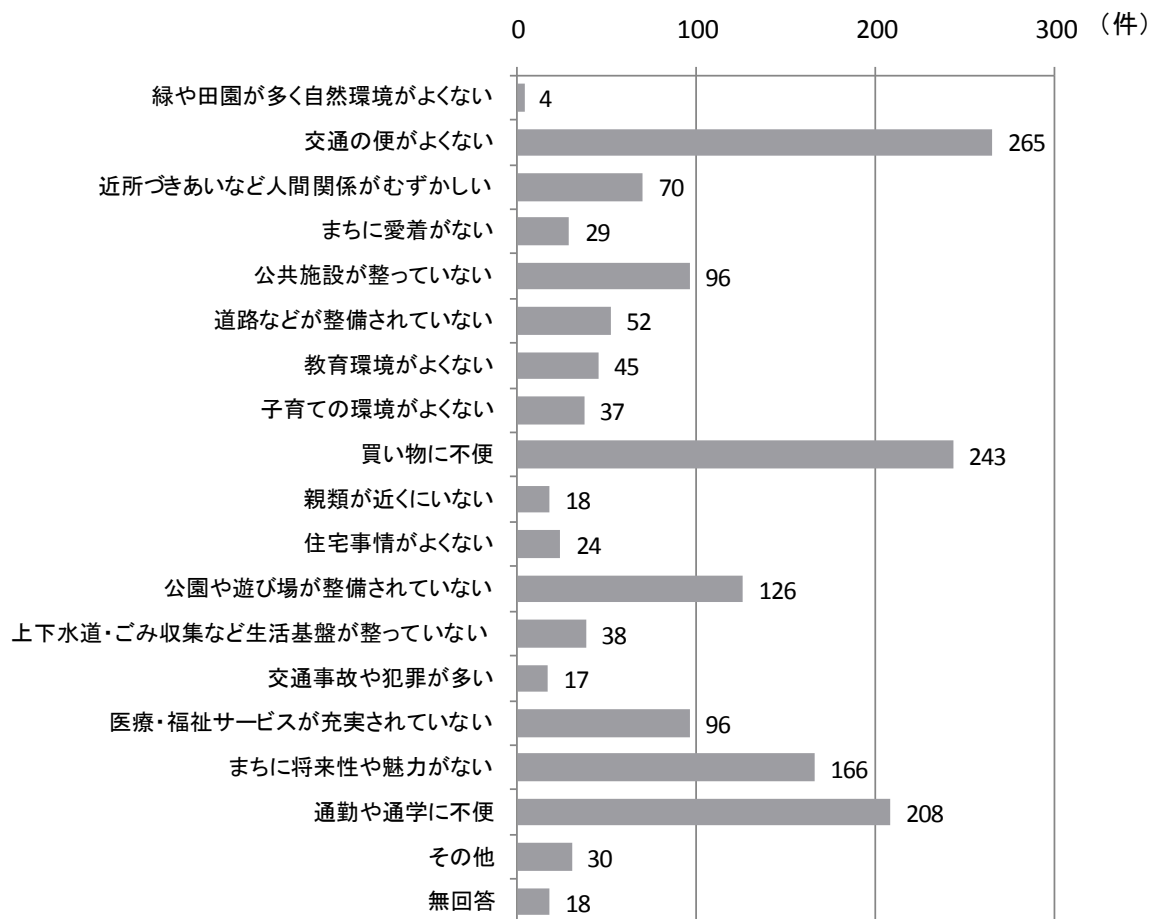
海津市の住みやすいと思う点としては、「緑や田園が多く自然環境が良い」が大多数を占め、多くの人が自然環境の良さを感じている。また、「親類が近くにいる」「交通事故や犯罪が少なく安全」「近所づきあいがあり人間関係がよい」なども比較的多かった。



住みやすいところ(複数回答)

問4 海津市にお住まいになって、住みにくいと思うところはどこですか。

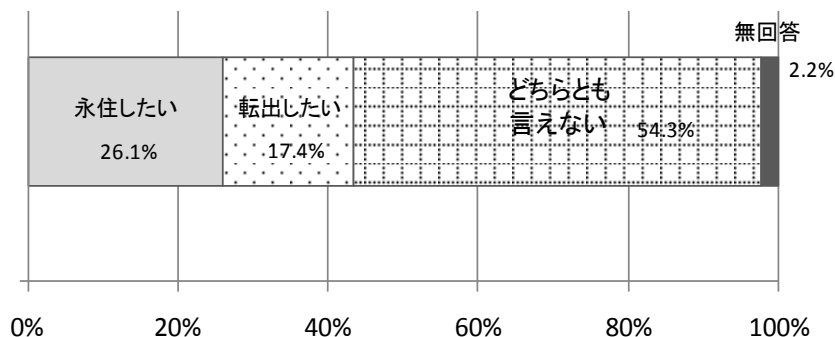
海津市の住みにくいと思う点としては、「交通の便が良くない」「買い物に不便」「通勤・通学に不便」が上位を占めており、それ以外では「まちや将来性に魅力がない」「公園や遊び場が整備されていない」「公共施設が整っていない」「医療・福祉サービスが充実されていない」などの回答があった。



住みにくいところ(複数回答)

問5 あなたは海津市に住み続けたいと思いますか。

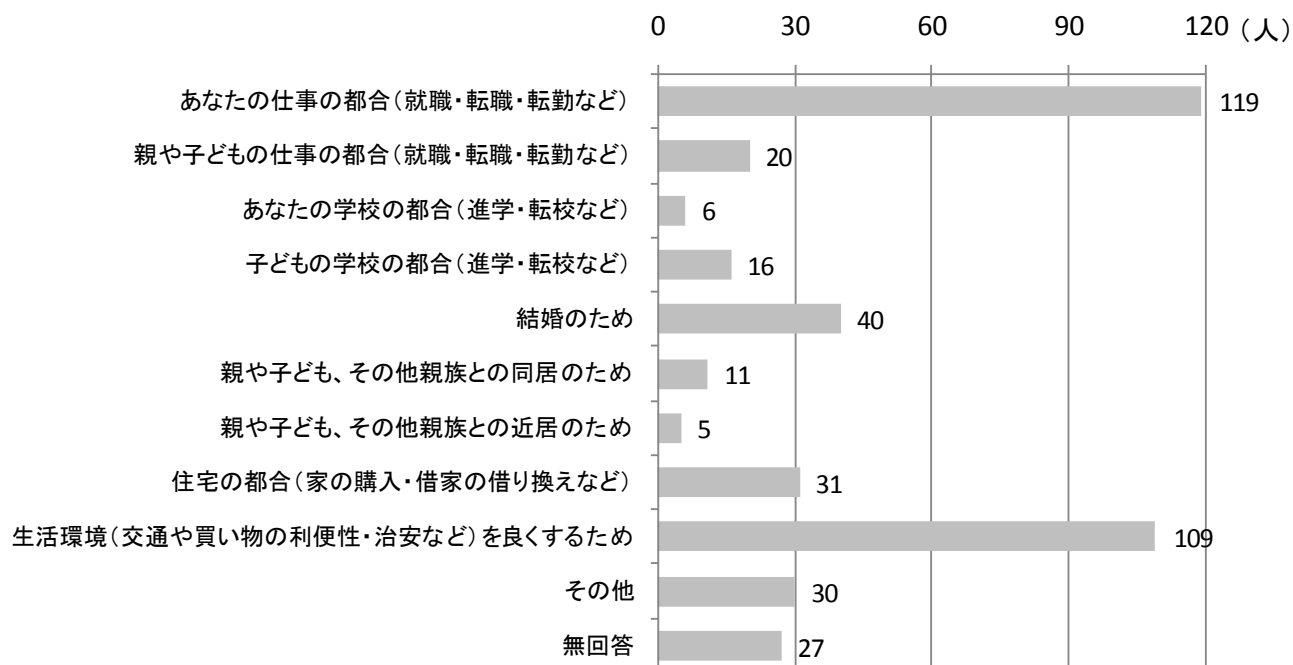
海津市に住み続けたいと思うかについては、「どちらともいえない」が 54.3%で過半数を占め、「永住したい」と回答したのは 26.1%に留まっている。



海津市に住み続けたいと思うか

問6 将来、もし海津市から転出するとしたら、その理由は何だと思いますか。

海津市から転出する場合の理由としては、「仕事の都合（就職・転職・転勤）」に次いで、「生活環境（交通や買い物の利便性・治安など）を良くするため」の回答が多かった。

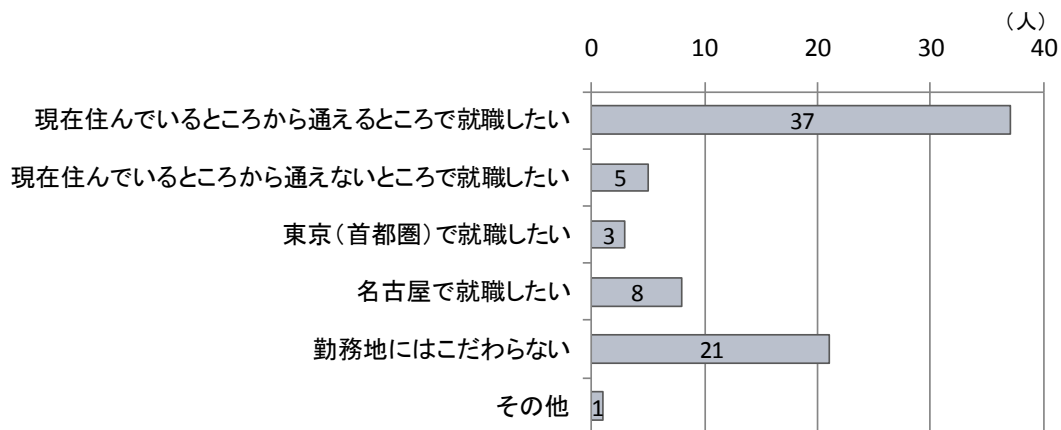


転出するとした場合の理由

3) 学生または現在、就職を希望している人への設問

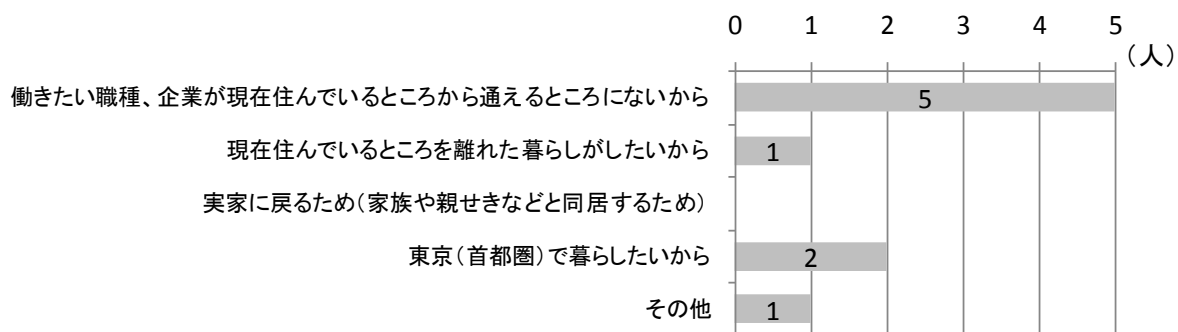
問7 就職したい場所について、どのように考えていますか。

就職したい場所として、「現在住んでいるところから通えるところで就職したい」が約5割を占めた。



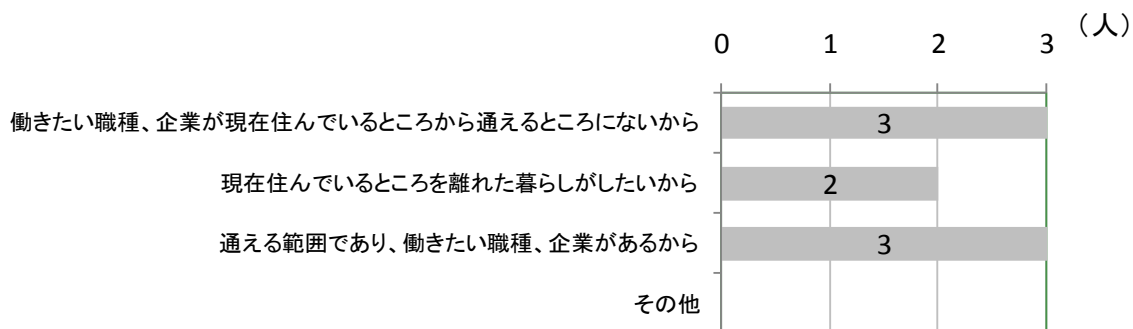
就職したい場所(学生や就職希望者)

問7-1 現在住んでいるところから通えないところで就職したい理由は何ですか。



現在、住んでいるところから通えない場所で就職したい理由

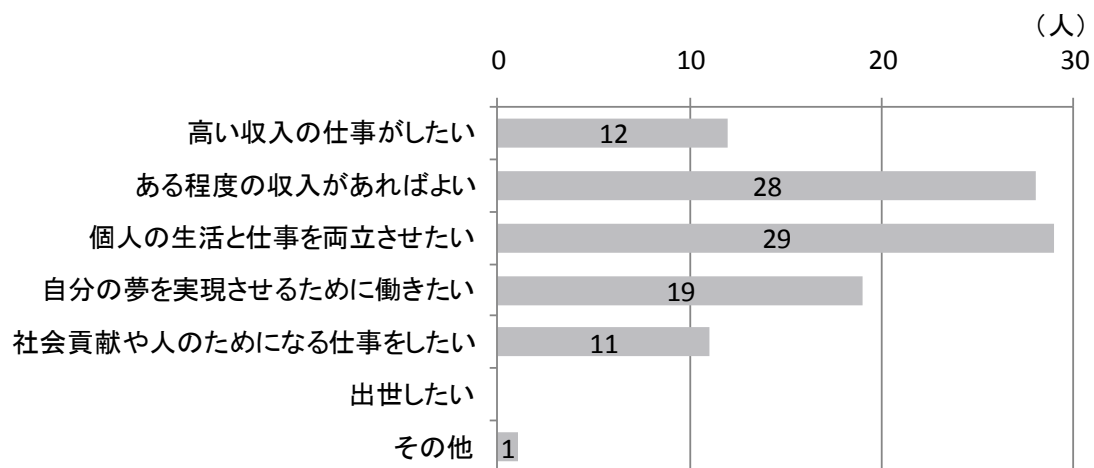
問7-2 名古屋で就職したい理由は何ですか。



名古屋で就職したいと思う理由

問8 あなたの就職観に最も近いのはどれですか

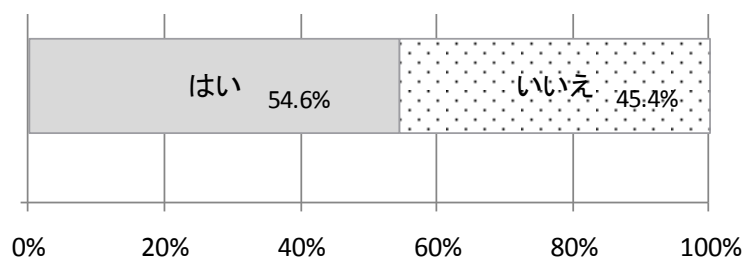
就職観については、高い収入の仕事よりを望むよりも、「個人の生活と仕事を両立させたい」「ある程度の収入があればよい」「自分の夢を実現させるために働きたい」が比較的多かった。



就職観

4) 結婚や子どもについて

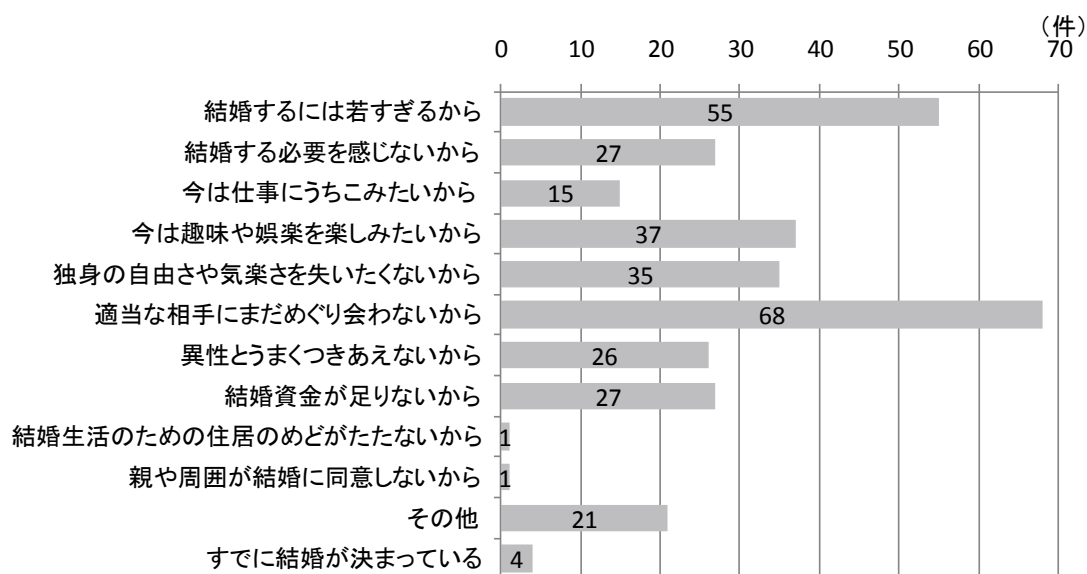
問9 あなたは現在、結婚していますか。



結婚しているか

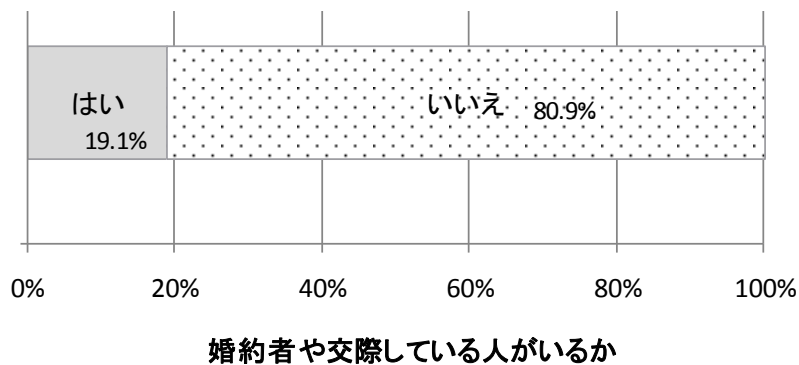
問10 あなたが現在、結婚していない理由は何ですか。

結婚していない理由としては、「適当な相手にまだめぐり合わないから」「結婚するには若すぎるから」が多く、また「今は趣味や娯楽を楽しみたいから」「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」「結婚する必要を感じないから」などの理由も挙げられた。



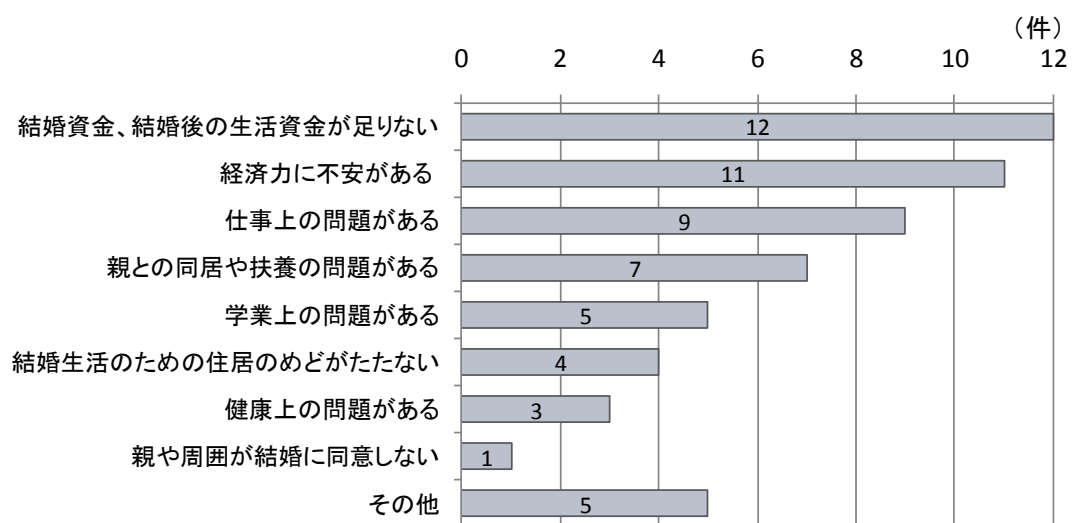
結婚していない理由(複数回答)

問１１ あなたは現在、婚約者や交際している人がありますか。



問１１－１ 婚約者や交際している人と結婚するとしたら、何か障害になることはありますか。

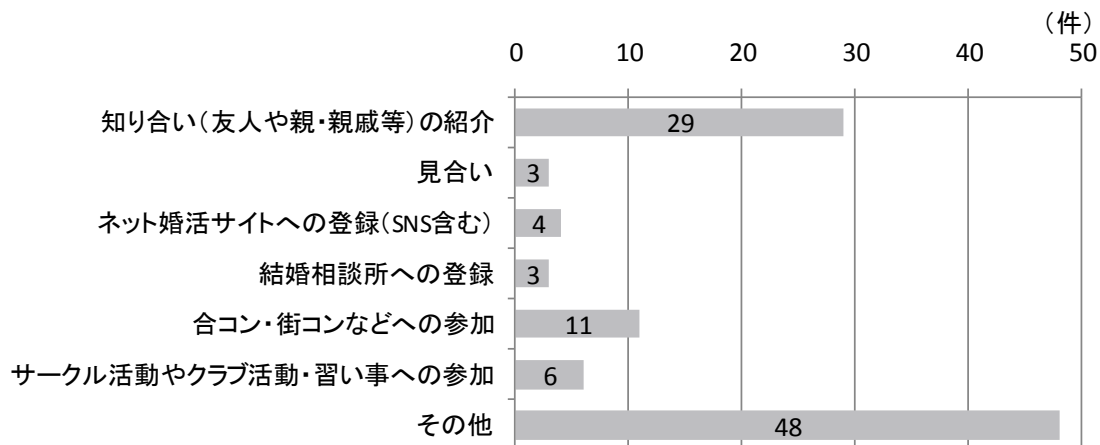
現在、婚約者や交際者がいる人で、その相手と結婚する際に障害になることとして、「結婚資金、結婚後の生活資金が足りない」「経済力に不安がある」などが上位を占め、経済的な不安が挙げられた。



婚約者や交際者と結婚する場合の障害(複数回答)

問１２ 現在、婚約者や交際している人がいない方にお伺いします。あなたは結婚（出会い）に向けて行っていることがありますか。

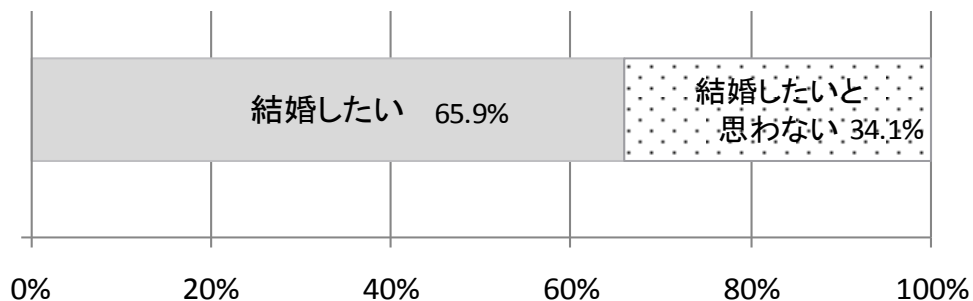
結婚（出会い）に向けて行っていることとして、知り合い（友人や親・親戚等）の紹介が多かった。



結婚に向けてやっていること(複数回答)

問１３ あなたは結婚したいと思いますか。

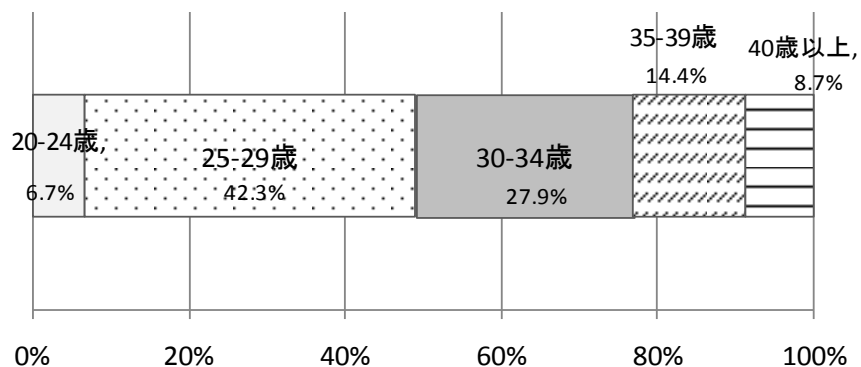
今後、結婚したいと思うかについては、「結婚したい」が65.9%を占めた。



結婚したいと思うか

問13-1 結婚するとしたら、何歳くらいで結婚したいですか。

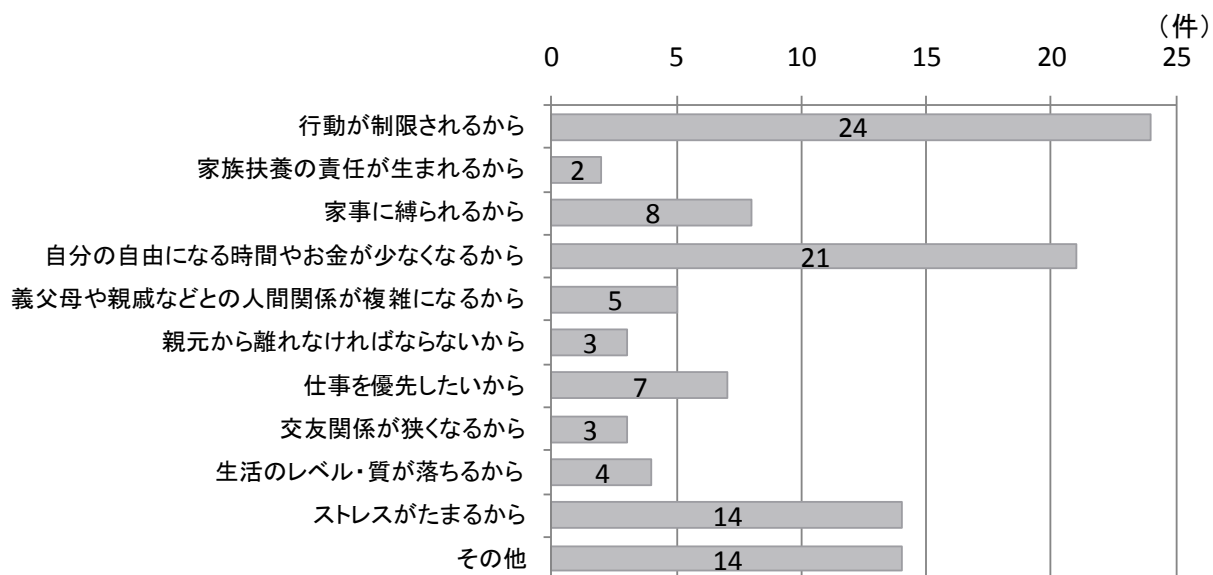
結婚したいと思う年齢は、25～34歳が全体の約7割を占めた。



結婚するとした場合の結婚年齢

問14 問13で「結婚したいと思わない」と回答した理由は何ですか。

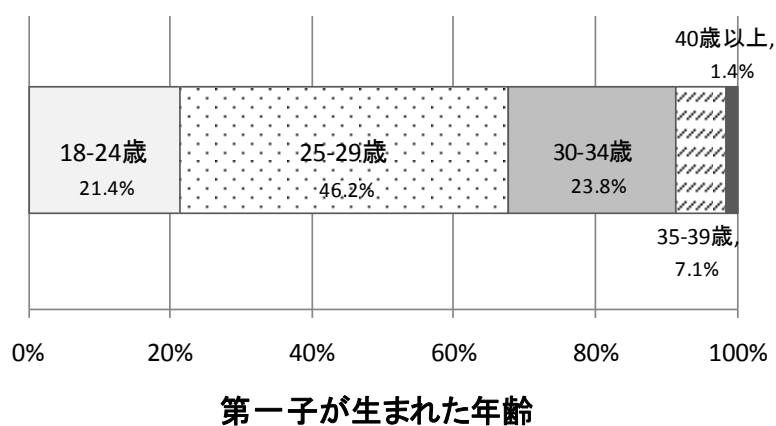
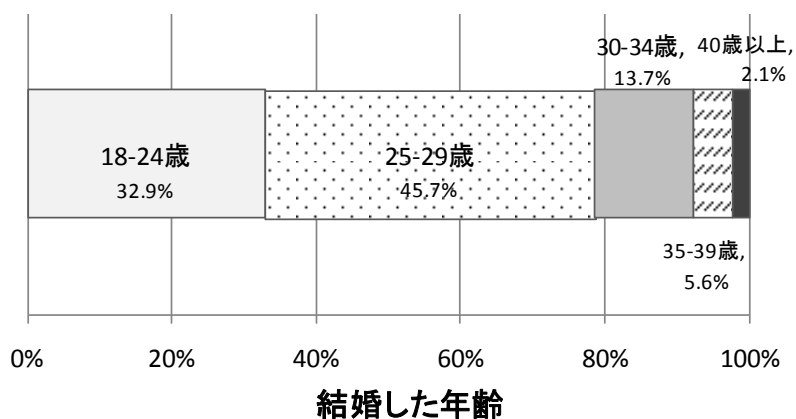
「結婚したいと思わない」と回答した人の理由として、「行動が制限されるから」「自分の自由になる時間やお金が少なくなるから」が多かった。



結婚したいと思わない理由(複数回答)

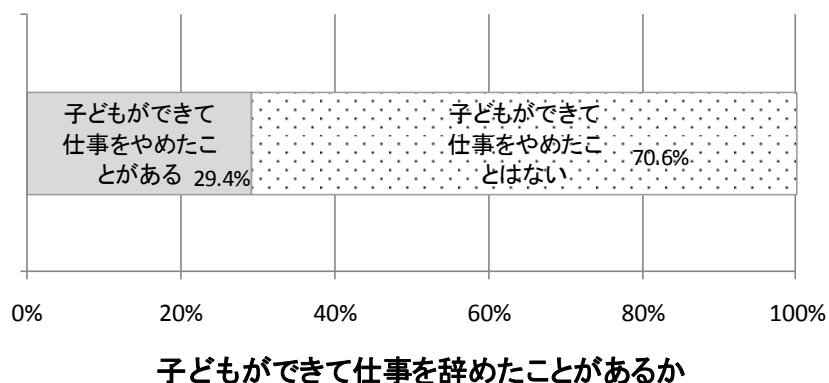
問15 あなたが結婚されたのは何歳のときですか。またお子さんがいる場合、第一子がお生まれになったのは何歳のときですか。

結婚した年齢は30歳未満が全体の8割弱を占めている。また、第一子が生まれた年齢は、30歳未満が7割弱となっている。



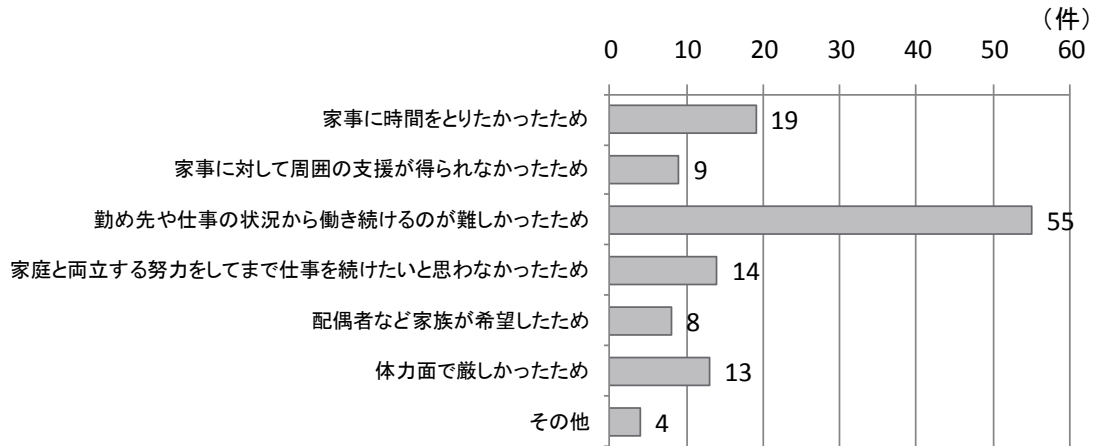
問16 お子さんが生まれたことをきっかけに仕事を辞めたことがありますか。

「子どもができて仕事を辞めたことがある」と回答した人は、約3割を占めた。



問16-1 仕事を辞めた理由は何ですか。

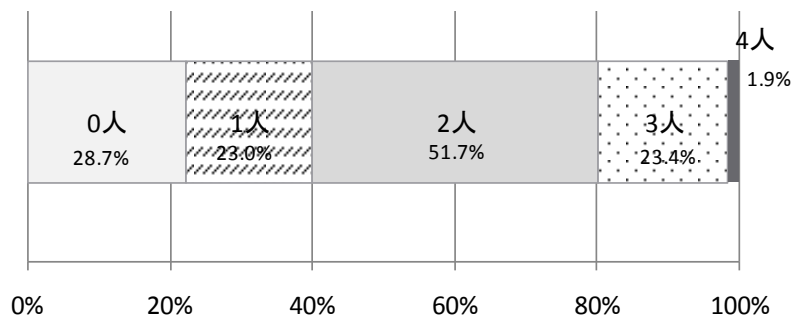
出産後に仕事を辞めた理由としては、「勤め先や仕事の状況から働き続けるのが難しかったため」が最も多くを占めた。



仕事を辞めた理由(複数回答)

問17 あなたの現在のお子さんの人数をご回答ください。

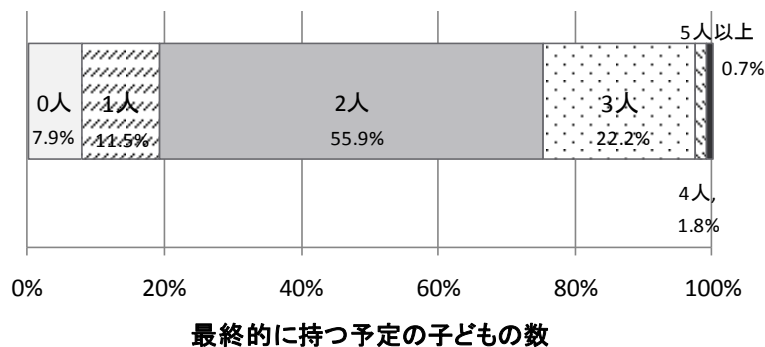
現在の子ども平均人数は 1.59 人であった。



現在の子どもの数

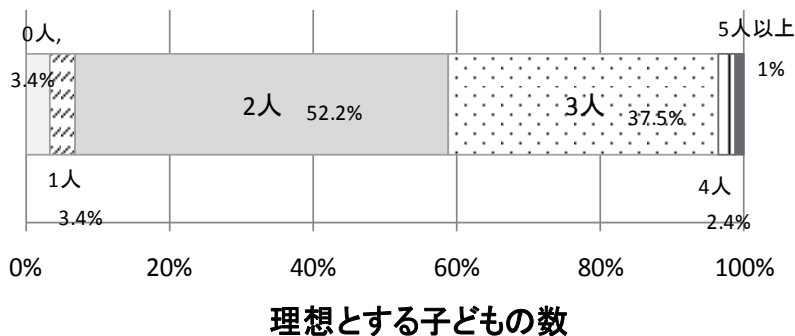
問18 あなたが最終的に持つ予定のお子さんの人数をご回答ください。

最終的に持つ予定の子どもの平均人数は2.01人であった。

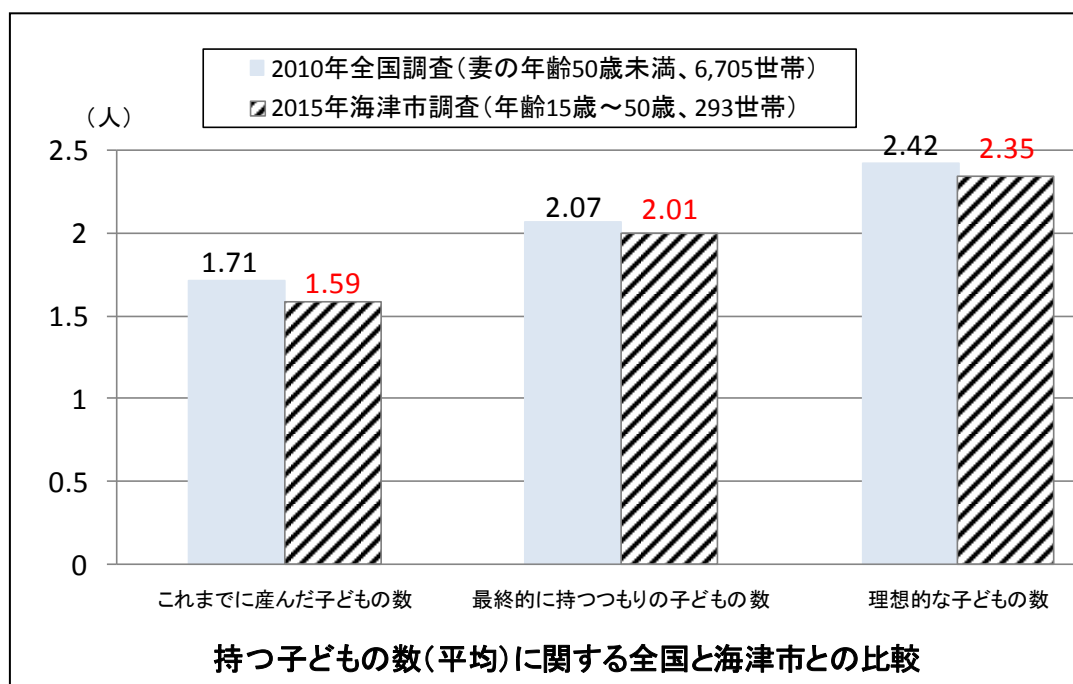


問19 あなたにとって理想的なお子さんの人数をご回答ください。

理想的な子どもの平均人数は2.35人であった。



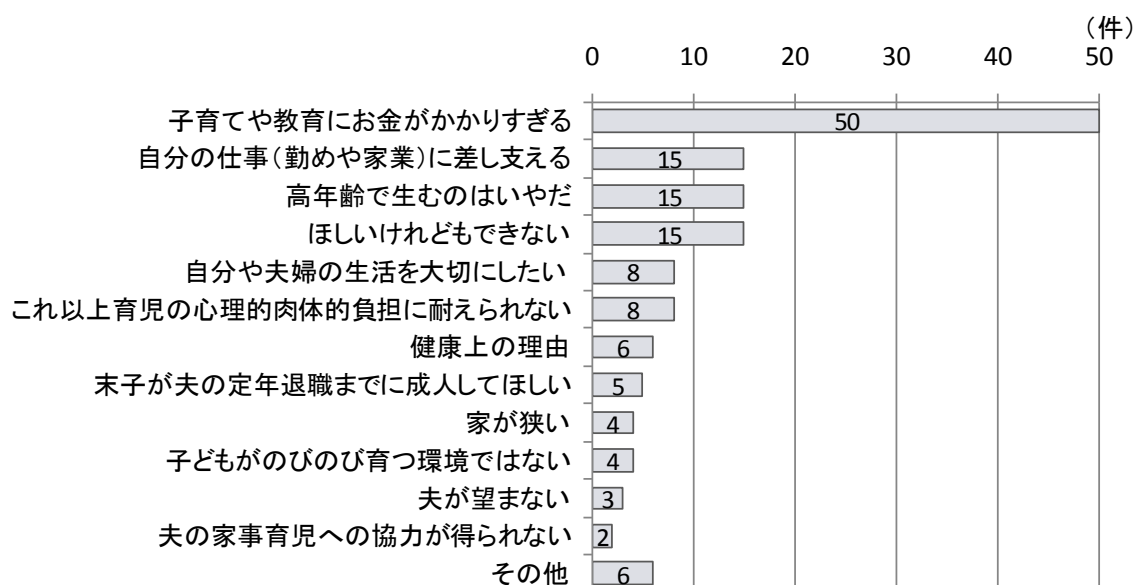
理想とする子どもの平均人数（2.35人）と、最終的に持つつもりの子どもの平均人数（2.01人）について、両者の差（0.34人）は、国の値（0.35人）とほぼ同じであった（下図）。



※「出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査：夫婦調査）」
（国立社会保障・人口問題研究所、平成22（2010）年）で比較

問20 持つ予定のお子さんの数が理想とするお子さんの数より少ないのはどうしてですか。

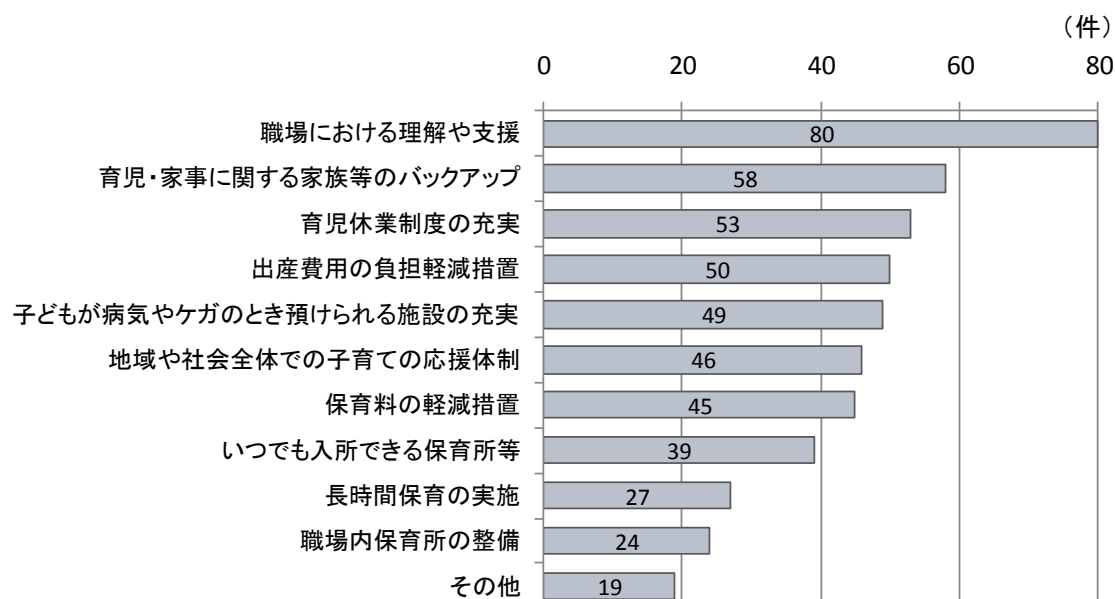
子どもの最終的な予定数と理想数とのギャップの理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の回答が最も多くを占め、経済的な面での理由を挙げている方が多かった。



子どもの最終的な予定数と理想数とのギャップの理由(複数回答)

問21 どのような条件がそろえば、子どもを欲しいと思ったり、持ちたいと思う理想の子ども数に近づくとおもいますか。

子どもを持ちたいと思うための条件としては、「職場における理解や支援」の回答が多かった。そのほか、「育児・家事に関する家族等のバックアップ」「育児休業制度の充実」「出産費用の負担軽減措置」「子どもが病気やケガのときに預けられる施設の充実」「地域や社会全体での子育ての応援体制」なども挙げられた。

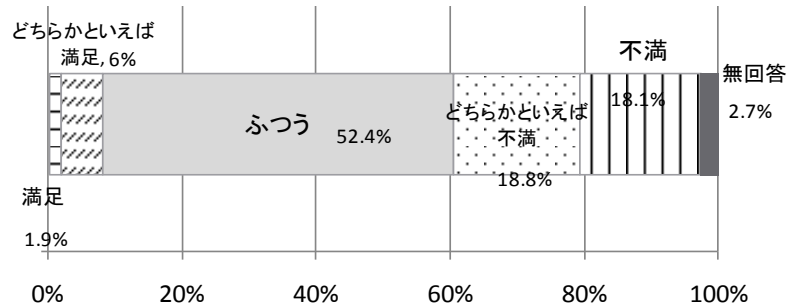


理想の子ども数に近づけるための条件(複数回答)

5) 市のまちづくりについて

問22 市のまちづくりの取り組みについて、総合的にどのように思いますか。

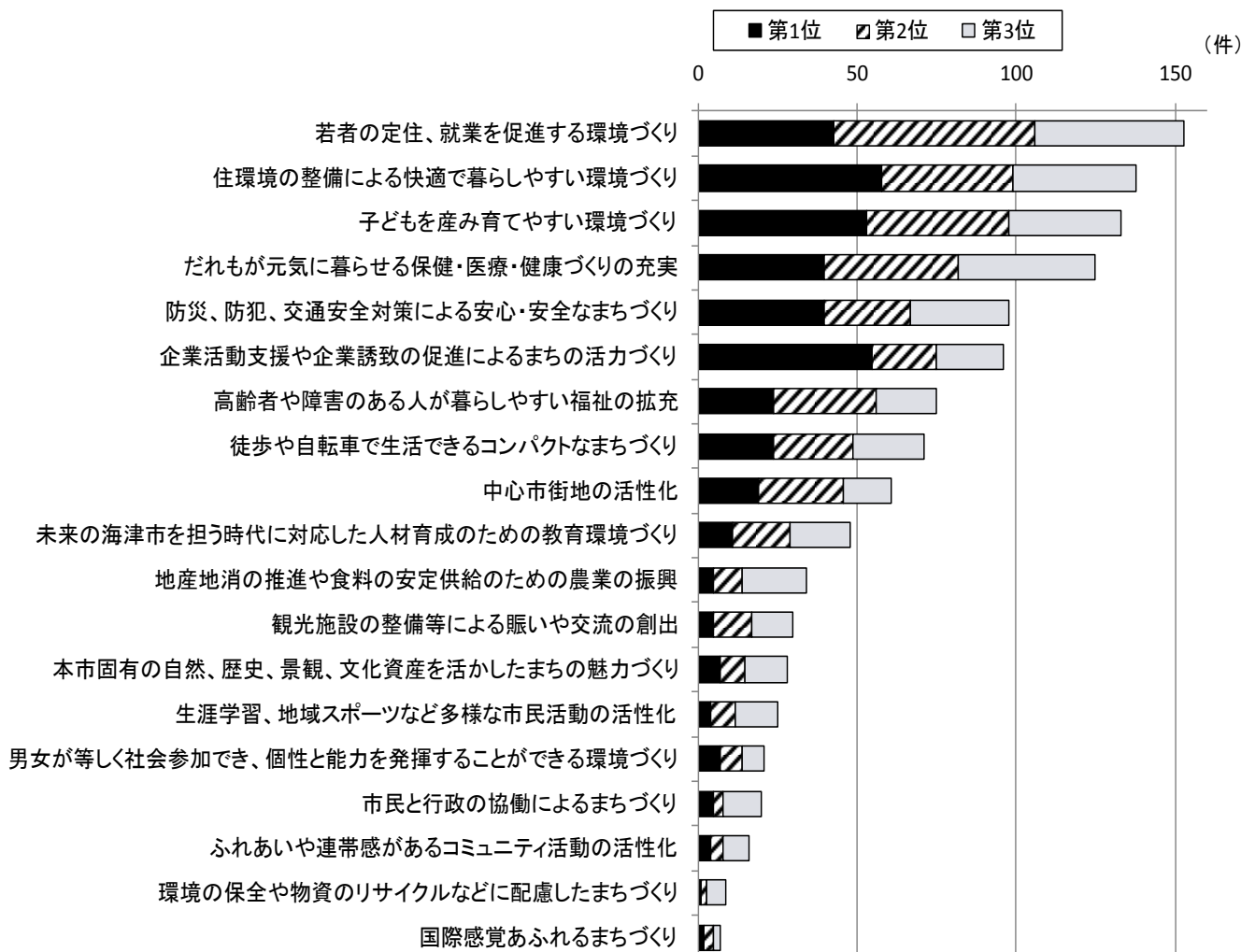
市のまちづくりの取り組みに対して、「満足」「どちらかといえば満足」が計 8.0%を占めるに留まり、「ふつう」が 52.4%を占めた。



市のまちづくりの取り組みについて

問23 今後、海津市が目指すべきまちづくりの方向性は何だと思えますか。

今後、海津市が目指すべきまちづくりの方向性としては、「若者の定住、就業の促進」「住環境の整備」「子どもを産み育てやすい環境」「保険・医療・健康づくり」「安心・安全なまちづくり」「企業支援・誘致」などが比較的多く挙げられた。



今後、海津市が目指すべきまちづくりの方向性(重要度第1位～第3位)

問24 海津市では地域活性化に向けて様々な取り組みを進めていますが、雇用を創出するためのアイデアやご意見がありましたら、お書きください。

※皆様方からいただきました、アイデア、ご意見等をカテゴリ別にまとめさせていただきました。

問24 アイデアや意見
■企業誘致や商業施設の誘致、企業活動支援、企業支援など
企業誘致や店舗等の誘致（非常に多くの意見）
企業活動支援、企業誘致、宅地造成で人口を増やしてほしい（複数意見）
企業誘致の施策(税制優遇、土地の無償貸与)（複数意見）
企業誘致で税収UP、海津特産を道の駅などの目玉商品として販売（複数意見）
企業誘致。ショッピングモール。農地を簡単に宅地にできる制度→名古屋のベッドタウン化する→人口が増える。少子化対策。
企業誘致の促進ができれば理想的ですが、なかなかすまないのが現状だと思います。今ある資源を生かし、特産物を開発またはブランド力で強化する仕組みづくりが必要ではないでしょうか。有名レストランのシェフやパティシエとコラボして製品を開発した例もあると聞きます。
企業誘致の得意な輪之内町との協力・合併。温泉周辺の宿泊施設・商業施設を増やし、特産品も充実させる。淡水魚水族館と昆虫博物館の小規模複合施設の建設。
近隣の町や市では企業が進出し、若い人が働き、住む。まず、若い人たちが魅力を持てる町づくりが必要だと思います。道の駅に魅力を感じることが少ないので、もっと素敵なテナントになるといい。同じ様な店が入ってもおもしろくない。若い人が手作りのものを売れるBOX SHOP みたいなものはどうですか
大きな企業に誘致するのが一番良いが、現実的にむずかしいので今ある産業や農業を強化して、全国にアピールできる独自のものを作り、市全体で盛り上げることで雇用もうまれると思う。例えばトマトの品種改良をして、独自ブランドのトマトを作るとか。
固定資産税等の税金の軽減をし、市民数の増加及び企業誘致に伴う、雇用拡大による市民数の増加により、サービス業などの新たな職業(雇用)を生みだし活性化につなげる
雇用希望の事業者への支援と情報提供と公益性ある方向への行政としての提案。特区制度を実績に応じ現産業の拡大
都市部から企業を誘致すべき。工業団地・税金優遇など。養老山脈・木曽三川(特区などにして企業誘致)を生かしたりリゾート開発。地場産業に力を入れることは良いが、それに特化すると成長ない市のまま!
土地とかの問題があると思うので難しいと思うが、土地を市が買い取ったり、借入してでも企業を誘致していかなければ、雇用は生まれない。その後にスーパーや福祉など生活環境が整ってやっと転入、永住が生まれる。三川公園、道の駅などで数多くイベントを開催し海津市をPRしながら、いろいろな事業に進んで行ってほしい。
アミューズメントパークを作る。愛知県小牧市の温水プールは市外からの利用者も多くにぎわっている。参考に施設を見直し、周辺に商業施設を誘致する。
名古屋にも関西にも比較的近いので、それらの地域に新鮮なまま販売できると思うので、広く平たんな土地を活かして大規模経営の農業会社を立ち上げるか誘致する。例えばイオンと提携とか。あるいは農業にこだわらず場所と広さは良いので工場や倉庫など誘致できるような気がするが…
いなべ市や多度の大企業といっしょに海津市の企業誘致・道路・住居。 ロードバイク用の道路設備(特に庭田山)。 大藪崇氏とコラボや道の駅の活性化。 森本誠とコラボしてロードバイク用の道路をコラボ
これからは高齢化が進んでいくので、産業ロボットの会社を誘致する、介護ロボットなどを作る会社など高齢者を相手にするビジネスを展開していく
パチンコ店など閉店している物件を利用した店舗づくり。閉店していても看板などだけ残り景観が良くない。
駒野地区の工業用地の無料貸し出し
在日米軍基地誘致。上場企業の工場とか作る

問24 アイデアや意見
桑名市みたいに工業団地や海拔の高い所に住宅を整備したらどうですか
■農産物など
海津市の特産物のブランド化（複数回答）
体験型農業で特産物をアピール
自然景観を活かした農産物の販売。今まで出荷しなかった野菜果物を安く売るなど。自然景観を活かした観光へのアピール(TV など)
地産地消が良いです。海津市でとれた物は海津市で使う。海津市でとれた物で何か作るのが良いと思います。
木曽三川公園で遊ぶ親子が、公園内で食べたくなるような海津市の特産品(トマトとかも)を売り、農産物をアピールできるといい。名古屋からきている親子づれもいるし、食べ物を通じて自然をアピールできるといい。人が増えれば企業もくると思います。
海津でとれた農産物でグルメバイキングやグルメツアーをする。
海津の米でライスミルクを作る。ライスミルクを使ったパンやお菓子を作る。乳製品が×な人でも食べられる。食品を野菜とともにお店で提供。Cafe 風とかビュッフェ方式とか。
桑名市ではもち小麦というのを生産して街全体でタイアップしている。海津市で海津市の食を出すお店が少ない気がする。
みかんと野菜のブレンド 100%ジュースの商品化
■農業
農産物の販売の活性化（複数意見）
農地の活用（複数意見）
道の駅などの充実（複数意見）
農業の 6 次化推進の為に施設を作る。(トマトジュース工場など)または、それを行う企業の誘致。サイクリング道路を整備して観光の目玉とする。
6 次産業の推進及び商品化のノウハウの講習会等を行う
農業に若者を。次世代へつなぐ人材の育成等。魅力をアピール
農の雇用
農産物を作る農地の貸し出し
特産物を使ったおみやげ、食べ物
幼稚園児が収穫終了間近のハウスで収穫体験をするようなことで都市部の人に経験してもらう。また体験農業(畑のオーナー制等)を導入し、非農家の人に海津市に来てもらう。その上で住宅価格が安いこと等アピールを上手く組み合わせる。農業で生計を立てたい人は多いはずなので、企業誘致の優遇制度みたいなものを、就労支援や若手農家の育成等の農業支援に採用する。また、商店街の活性化のため休日は歩行者天国にしたり、「うまいもの市」みたいな企画をそれに伴う商店街そのものの整備、居住地域・商業地域の区分け。史跡の活用(歴史めぐりツアーetc)
市と農協の協力体制による取り組み
農協、郵貯等横との活性化の協議が最も重要と思う。
農業と IT の融合
■観光
海津市自体の PR。大河ドラマ「八重の桜」放映時等 PR する機会があったのに特に何もなかったのは残念。知名度が上がれば訪問する人が増え、お金が落ちる。住人が増えれば自然と雇用も創出されることから住みやすい町を目指す。短期的であれば企業誘致も視野に入るが、自地産業が育たなければ長期的には発展しない。
クレール平田やお千代保稲荷等の近くに観光や目玉になるような施設(名所)を作り、特産物を販売したり、カフェで休憩してもらうなど、観光バスツアーのルートを作る
①市内に雇用機会を増やすならば、不足していると思われるサービスに目を向ける。
②海津市内、日帰り観光パックの発売(旅行会社とコラボ or 個人旅行者をターゲット)
・自然を生かして古民家を旅館などにして、観光スポット作る・古民家を利用して借家として貸して若年層

問24 アイデアや意見
の移住をつくる ・市民バスの1日乗り放題バス(電車で降りた人に津市の観光地をまわってもらう為) ・三重県の国際会議に向けて津市にも観光客をよせれるコトを考えていくべき
観光農園や里山体験など養老鉄道や温泉施設を利用した体験ツアー
イベントを増やし市外の人々が来やすい様に考えてもよおす仕組みを考えていただきたい。
まずは、観光を多くすること。TVで全国に広めること!市の歌を作ったらいいと思います。土産品をたくさん出した方がいいかと!
国立公園の活用
■交通機関、インフラ整備等
バス・鉄道などの交通機関の充実(複数意見)
津市は名古屋通勤圏内としての地理的メリットを生かしきれていない為。道路、橋の整備、住宅地の建設を進める。企業誘致には向かない地理。観光資源を有効に活用すべき田舎と街を明確に区別する様な津市全体に地域のメリハリを付ける。
市外からサイクリング、つりをしに来る人が多いので、東海大橋から養老までの道路を整備し、新しいお店などが出店されると活性化すると思います。サイクリングロードなど。
長良川に新橋をつくり、名古屋への交通の利便性を高める事で企業・人の流入をはかる。官製の景気対策はムダ。出来ない。
養老鉄道がサイクルトレインをしているので、ロードバイク関連のイベントや整備、PRはいかがでしょうか。
■公共施設
市のテーマパーク化:学園都市やスポーツの町※若者と活気があふれるイメージ作り
児童館の充実。図書かん・児童館・温水プール・温泉せせつ・パターゴルフ場 etc すべてがそろった施設があるといいですね。
若者がよってくるような街にするべき。たとえばグラフィティをかける建物があったり、公園にブランコがあったり、若者が楽しいと思う街にしないとどんどん減っていくばかりだ
■自然の活用
自然体験プログラムの充実(田舎でしかできない事)名古屋からツアーを組む。老人ホーム・幼保一体の大型施設(老人〜子どもまでが一体となって生活でき、互いに助け合える施設を他市にアピール)
木曽三川があるのは大きな利点であるため。それらの川を有効的に使えるようなことがあれば、他の地域にはないアピールができるのではないかな。
自然を活かした郡上に新しくできた木のぼりとか特徴のある公園、パーク。
思ったよりも夜景がキレイで静かな為、夜空の音楽会だとか人を集客できるイベント等。羽根谷の桜はすごくきれいなので焼き場がそこにあるのはちょっと無い計画だと思う。
■高齢者関連
高齢化対策を先取り、高齢者の経験を活かせるような農業の振興を行い、企業が農業をリードして高齢者雇用につなげる
定年退職者等の働ける場所の提供。地域情報雑誌を津市もほしい。お店のクーポンやオープンの情報。雇用等何でも掲載していると特に女性(ママ世代や60代の方々等)は興味があると思う。
単身者・独居老人など。孤立・孤独な人がいなくなるようなコミュニティ。居場所をつくってあげるようなことをすると、福祉の雇用の幅と枠がひろがると思う。
介護ビジネスの誘致?
福祉関連の事業所がほしい。
■スポーツ
地域スポーツのイベント等
①ビーチバレー、トライアスロン、ボートなど国際センターのイベント時、ブースを作り津ブランド出店をつのり(又はお願い)、サービスや販売・PR・ちらし
②自転車屋マップをクレール平田・おちょぼ他、道の駅におく

問24 アイデアや意見
(理由)名古屋方面より大垣～などロードバイクの方達を多く見かけ話をしたら、自転車屋を聞かれた。知っての方がいいし、車でいうSA的なエリアを設けてポイント場所にしたらどうか?(クレール平田も良く居る。おちょぼも、庭田も) イベントの定期開催
老若男女問わずスポーツ課が中心となって健康づくりやコミュニケーション向上を目的として参加できるレク活動。これ以上は野球人口を減らしてほしくないために地域住民が野球を愛し目を向けてくれる貯めに行う「野球」というスポーツの講習や実践活動。
新たな海外都市との姉妹都市締結にこそみる。東京オリンピックの事前キャンプ地になれるかも。スタッフを雇用できる!!
総合運動公園を遊休地に作ってはどうか?今となっては南濃庁舎の土地が無駄と思います。
■その他
空き家を利用する(シェアハウスなど)
ゆとりのある教育環境(土曜日授業の復活)
斬新な土地利用計画の線引きにより住居、商工業(特区)の設定による雇用創出と少子化の歯止対策
人がたくさん住むようになれば店や企業も多く進出してくれるようになるのでは?若い世代(人)達が住みたくなるようなモデル集合住宅の建設をしてみても?
例えば名古屋のような商業都市を目指す必要は全く無く「海津市らしさ」を活かした。農業であったり、林業であったりに力を入れてゆけば良いと考えます。加えるなら個人で細々とやっている職人さんなどの「手づくり職人特区」のようなものを興しても大変意義があるのではないのでしょうか。
いつできるかわからない工場誘致なんか待ってられない。今ある物、荒れた山のみかん畑や柿畑を市営や第三セクターで大規模に組織化し、引きとり、人を雇って作らせ、給料を払うとか。どの世代の人でも健康的に活動ができる医療費の削減(スポーツジムの誘致や老人の体操教室(有料))。どの世代の人でも参加できる文化活動(オーケストラやブラスバンド、合唱その他なんでも)。保育園や児童預かりでお稽古事、塾が出来たらいいと思うし、小中全学年少人数制学級にして学力向上させ、海津に住むと勉強出来る子になる。よい高校大学へ行く子が他より多いとなれば他地域から転入する人が増えると思います(部活も高校、大学へとつながる)大垣や岐阜の学校に行きやすくするための通学手段に増やしたい。いくらでアイディアだして実行してください。みんないろいろ考えてるんですが声に出す所がないのでこの様なアンケートはとてもよいと思います。市長、みんなでがんばりましょう
先ず、ふるさと納税などを利用して知名度を上げる。多少の赤字を用いて、某ラムネの様な一品を(人数限定でも)供すると良いのでは
問いと異なりますが…土地を購入して家を建てたい友人がいました。でも平田は売り出される土地が百坪位の大きさで、家まで建てる出費が無理で輪之内に転出されました。それが一人二人ではありません。そんなことから人が増えない理由が想像できます。
外国人労働者の受け入れ
完全制御型の植物工場の推進
ネットの高速化

問25 海津市で暮らすことの魅力や期待、もしくは不安に思うことなどがありましたら、自由にお書きください。

※皆様方からいただきました、ご意見等をカテゴリ別にまとめさせていただきました。

問25 自由意見
■交通の便、車、インフラ整備など 交通の便が悪い、交通機関の充実、車がないと生活できない（非常に多くの意見） 学校へ通うことがとても不便（多数意見） 養老鉄道は何としてもなくさないでください。今でも本数が少ないのでなくすと将来子供たちの通学、通勤などにも不便が生じます（複数意見） 中学校が統合し通学する際の通学路の安全面や防犯面が不安です。国道 258 号線の歩道の整備。現在片側しか歩道がなかったり、子供が自転車で通れない区間がたくさんあるのが不安。（複数意見） 自分の住んでいる地区は小学校 3 年生から自転車通学となっています。集団で登下校するとはいえ、低学年である 3 年生からというのは親としては事故等の不安がつきまといます。せめてもう 1 年間遅らせ、4 年生からの自転車通学にならないものだろうか？（複数意見） 市外の企業、特に名古屋で働く人が多い。しかし鉄道の本数が少なく、税金も高い海津市に見切りをつける人がかなりいるのでは…何もない、税金は高い、光熱費も高い。鉄道に乗らないから、高齢化だから、人が減ったからを理由にする市政に未来はないでしょうね…。 南部地区の道路整備。お年寄りが増えていくのに、手押し車や車いすで移動できる道ではない。そこらじゅうがたがた。ベビーカーにも優しい道ではない。歩道がまずない。散歩ができる遊歩道など生活が充実できる整備をしてほしい。 自然豊かで静かな環境で子育てができることは魅力です。ただ、近くの小学校も人数がどんどん少なくなり、近所にも空き家が目立ちます。コミュニティバスも、オン・デ・マンドになるなど、少ない人口で現在のサービスや環境が維持できるのか心配です。 国道 258 号線の 2 車線化を早く進めてほしい。南濃町から滋賀県方面へ行ける道路をつくる 国道の 4 車線は必要が無いと思う。夜に暴走者がいる。 通信インフラを整えてもらいたい、光回線が一部しかないから(ケーブル TV は論外)
■公園等 我が家の子ども達は大きくなりましたが、子どもが遊ぶ施設がすくないこと。小学校 etc いろんな行事をなくしていってしまう事はとても残念です。マラソン大会・写生大会 etc がないのが残念ですネ。 公園の整備に力を入れてほしい。小さい公園でも雑草の手入れはきちんとやっていただきたい。すべり台は(すべる所が)ステンレス製ではなくプラスチックのものにしたほうがいいと思います。日射しですぐ熱くなります。今は近くに公園があっても行きたいと思わないです。 ・南濃、南部グラウンドに子供が遊べる公園を作ってほしい。 ・石津地区の道路整備(住宅が多いが、道がせまい場所、橋のはばがせまく、事故になりやすい)、優先道路が分かりにくい。 ・松山駅周辺の整備(中学統合により電車通学となるが、駅まで自転車の利用がふえる、交通量も多く、事故が心配。雨の日などは車での送り迎えが増えると思うので、渋滞が予想できる。乗り降りできるロータリーがあるといい。 揖斐川の河川敷もきれいに整備し公園にする。市民の高齢化と一人暮らし世帯の増加…子供が県外の大学に行く→その土地や都市部で就職し帰郷しない。(雇用がないから・通勤に不便)などの理由。市長・議員及び市役所の人達がまず車を使わず通勤してみて下さい。どれだけコミュニティバスがムダだと不便だと感じるでしょう。 公園や公共施設・トイレ・自転車道など海津市ではちょっときたないと思います。子供の集まる所を中心にきれいな町にしたいです。
■学校施設 小学校の合併を早くしてほしいです。（複数意見） 子供が大きくなるにつれ、学校がどうなるか心配(ただ空気はおいしく、緑も多いので、子育ての環境はよ

問25 自由意見
い) (複数意見)
■高齢化、少子化、人口減少など
高齢化対策、少子化対策、人口減少への対応 (非常に多数の意見)
高齢者が増えているのにタクシーも減り、同居者が居ると(娘や息子)利用出来ない事も有る。コミュニティバスも朝夕増やせば学生も利用出来ると思います。(複数意見)
少子高齢化が年々進んでいることから、瑞穂市のように若者世代が家を建てて住みやすいように、税金対策を行う(補助)岐南町のように給食費をタダにする。
健康寿命を維持するための施設の拡充。(老人が身軽に出来る軽スポーツの場所[施設]の増設)
少子化による活力の低下。「〇〇の町」というイメージがなく、海津市より公園の方が有名だが、木曽三川公園・3ヶ所の温泉が分散していて魅力がぼやけてしまっている。市としての個性をアピールできていない。企業誘致→予算の確保→施設の充実→広報活動→観光客増加・人口維持→予算の増加 というサイクルが望ましい。
新しい住宅地には子供が多いけど、昔からある部落には子どもが減っていく一方です。「同居が嫌だから」と子どもを追い出すのではなく。(結婚した時に)引き留められる環境が整えられるとありがたいし、地域活性化に繋がると思います。
若者が減少する一方で、老人が増えていけば介護をする人がいなくなってしまうので、若者を増やすことに重点を置いた取り組みをしてほしい。
若者は外(都会)へ出て行く。高齢者は多く人口はこのままでは減ってゆく。積極的に企業誘致を行い、外から若者・働ける人を取り入れてゆかないと減るばかりだと思う(土地面積は広いのだから)。環状線が出来るので、それを有効に活用できないのか。
自然豊かな場所もあり国営の公園や千代保稲荷もあり、良い所が沢山あると思います。けれど若い人は市外へ行き、人口の減少が大きくなっていると聞いています。もっと若い人が住みやすい市になるといいかなと思います
子どもが少なく、近所に子供と同世代の友達がいらない。保育園や学校に魅力を持たせて、あの学校に通いたいから海津に住みたいと思ってもらうのもいいと思う。若い子育て世代が購入しやすい住宅地を設備するとかも。とにかく子どもがもっと増えてほしい。
■子どもをとりまく環境、子育て
子育てしやすい環境づくりの強化 (複数意見)
子育てに良い環境づくりを積極的にしてほしいですが、もう少し20代~40代くらいの働いている人が休日にも参加できるようなカルチャースクールが充実するとうれしいです。もしあったとしても全く情報もないし、一番税金を納めてる世代にはつまらない気がします
子供が少ないことで、子供の友達が近くにいないのがかわいそうで少しこれからが不安。若い世代が多く暮らせる街になるとうれしい。近所の人とのつながりが強いので、子供の安全面ではみなさんが見守ってくれているようで安心している。もっといろいろなお店ができて地域が活性化するとうれしい。
子供が少人数の中で生活・学習しているので、他校との交流を定期的に行い、多人数の中で学習や交流する場があるとよいと思う。
子供が遊べる場所がたくさんあってたすかります
子どもと高齢者が守られていない
チャイルドシートの補助制度は子育て世代にとっては魅力的だと思う。他の地域の差別化を図れていると思う。地震・災害に強い対策をとってほしい。地区も高齢化してきて家も老朽化してきて更に地盤も弱く被害者は多いと思う。災害時の対策をしっかりとってほしい。堤防全域の強化。高台の避難場所の設置。市内に良い病院がないのでDrの充実。夜間小児科設置。→多数のママは困っており県外に行ったり遠くまで足をのばしている状況。
第一子を保育園に預けて妻が就職した後第二子が誕生し退職したが第一子を転園させず通わせ続けるには早期の再就職が必須なのが納得できない。第2子がある程度の年になるまで家庭で育てたいという願いと両立出来ないのが不満。大人の都合で子供が無理やり転園させられるのが正しいあり方だとは思えない。
父子家庭への支援が欲しい

問25 自由意見
■医療
高校生まで医療費無料にして欲しい(複数意見)
医療施設の充実(複数意見)
産婦人科が海津市内にないため、出産の際は大垣などの市外へ行かなければならず、妊娠中、出産の際に不安。同様に小児科の専門医が市内にないため、海津市内に女性や子どもが安心できる病院の誘致をお願いしたいです。
祝日に子供が高熱をだして、休日当番医のいる病院に行ったが、皮膚科で薬が出せないといわれた。その後、医師会に行ったが、薬局自体が閉まっていた、診察もすぐ見てもらえない状況だったので、大垣市民病院まで行くはめになった。こんな不便な所で自分も老後過ごすのかと思ったら不安になり、主人と老後は市外に引っ越すつもりでいます。せめて医療だけは充実してほしい。
1月に出産しました。その後のフォロー(健診や離乳食教室など)がしっかりしていて子どもを育てるのにはいいと思いました。
■税金等
住民税が高い、公共料金が高い(複数意見)
水道代が高い(複数意見)
国保、国年、県税、市民税、税負担の増加の不安
税金が少し高いことと、もう少し街灯とミラーを増やしてほしいです。
■商業施設
市内に大型ショッピングセンターや、大型商業施設を建設すべき、広大な土地があるのに勿体ない。(複数意見)
店が少なく不便。(複数意見)
■スポーツ
企業誘致がむずかしいなら、競技場などを作り、河川敷でボードだけでなく、町の真ん中でスポーツイベント、音楽イベントなどを定期的に行い、知名度を上げて集客力で新しい雇用などを生みだす
現在、海津はおろか東海四県の中では岐阜県は野球チームが徐々に減りつつあります。「なぜ減るか!?」「なぜ、野球より他のスポーツか!?」と海津市野球連盟は頭を悩ませています。この少子高齢社会が進んでいくなかで野球人口が減っていくと連盟としては運営が苦しくなってきます。ですからスポーツ課と体育協会及び野球連盟が一丸となっていていただき皆が「野球」という伝統あるスポーツに目を向けていただきたいです。
市役所付近に運動できるスペースをつくってほしい。
あたたかい人が多く、交通事故なども少なく、のんびり、ゆったり生活できる。最近、マラソンとか活性化に向けて取り組みが多くなったので、期待できる。
■自治会など
経済の活性も大事だと思うが、人とのつながりや安心を感じ心豊かな幸せを持つことができる海津市を期待したい。その上で市民の活力が高まり、地域発展につながれば魅力ある海津市になると思う
県外から引っ越してきたため、知人がおらず、自分と同じような年齢、子供を持つ方と知りあえる場がほしい。
海津市に限った話ではないと思いますが、どのコミュニティにも属さない人が増えているのではないのでしょうか。例えば私の場合、普段は会社と自宅の往復だけで、地域との関わりを感じることはありません。誰もが気楽に参加できるコミュニティ機会があればよいと思います。私が知らないだけならば、そのような機会をもっとアピールしてはどうか?と思います
自治会やコミュニティーなどの集まりや町内一せい美化、などボランティアであるべき事が強制的になっている。月～土まで仕事をしていて、休み(日曜日)に強制的にやらされるのは、迷惑です。時間にゆとりのある方に、やれる方にやってもらう方向に変えて欲しいです。税金をきちんと納めているのに、まだ強制労働しなければならないのですか?
自治会(ゴミのすてかた・そうじのやり方)、近所トラブル
衰退している農業を復活させるのではなく、次の新しい産業を目指すなど大きな転換をはからないと海津

問25 自由意見
市消滅のシナリオしか見えてこない。「長い事住んでいて、土地を一杯持っている人間が法律」の常識で自治会を運営している以上、人口増加は見込めない。
■自然
きれいな空気と大自然に囲まれていて、子供も高齢な方もとても住みやすい場所だと思っていますし、市民の皆さんも温かいです。また、岐阜市や名古屋市など栄えている場所へも近く県境であることも好きな所です。もっとこうした良い部分が若い人や、他の地域の人にも知ってもらい、人の輪が大きくなってほしいなと思います。まずは地域の若いパパママやその子供が中心になって街づくりができるようなイベントなどがあつたらいいと思います。
自然がいっぱいで街もきれいですね。高齢者の人が安心して暮らせる環境ですね。海津市は人口が減少をしているが、若い方々にもっと海津市から離れて暮らすことが少なくなるように、働く場所(企業・福祉施設など)を充実させることを望みます。
自然が多い事を逆にとり、もっと魅力的な市にして頂きたい。道路の整備(細い道が多すぎる。車が迷い込んだり。落ちたりすることが多い)
いつでもしんせな野菜が手に入るのが魅力。子供の通学の便がどうかと、あと仕事(求人)が少ないのが不安。
自然が豊かすぎて、通勤途中でサル・たぬき・しか等週に 2〜3 回は道路で死んでいるのを見ます。なんとかありませんか。かわいそうだし車の運転にも支障が出ます。
自然が多く、保育園が充実しており子育てがし易い。人口流出防止策が見あたらない。養老鉄道やコミュニティバスがいつまで稼働するか不安
■防災、防犯
土地が低く、水災害などの心配がある。(複数意見)
台風や地震後の水被害への対策。平地に住む海西地区の私たちはどうすれば?水没している道路も使えないのにどう高地へたどりつく?・AED など公民館や学校に設置してあるのはありがたいのですが、鍵がかかっている状態、どう使用するのでしょうか?
山・川・田んぼ自然が沢山で空気はきれいと思うが、ここ最近地震、津波で山崩れ、川が近いので津波対策は大丈夫か?と心配です。子供がいる家庭では遊び場が欲しいです。公園がない!南濃グランド半分公園にして頂けるといい。
自然災害に対するシュミレーションが市民にわからないと思う。その為の対策は?
魅力:緑が多い。不安:地盤がわるいので地震がきたら不安
将来子どもの通学が長距離になるため防犯・安全面で不安。病院(とくに小児科)もなく、総合病院が遠く何かあったとき心配。川も近く災害も気になる。多度山が近く早く日が陰り 1 日中じめじめしている。昔からの家は下水を水路にたれ流しで料金も安くすみ不平等。
・交通安全対策がされていない(複数意見)
・高齢者や人の入替えがほとんどないため、昔からのしきたりが多く、矛盾だらけである
平坦で見通しの良い道での交通事故が頻繁に起きています。不審者情報もよく耳にします。子どもやお年寄りを一人で出歩かせることが恐しく感じるというのは、せっかく素敵な景観をもつ海津市なのに非常に残念で仕方ありません
■環境
田畑がどんどん荒れ、田んぼの米作りに魅力を感じない。このままほっておかれて、良くなる方向へ行くとは考えられない
南濃の方で動物(さる、しかなど)が出てくるので、それが怖いです。実際、動物とぶつかって事故にあっている人もいますので、不安です。(複数意見)
住宅地と農業地の適した開発方向によって景観が守られ、中心市街地ではお千代保や大通り商業地として他県他市町村から訪れてもらえるとういと思います。
トトロ化
■観光
南濃町には国道や鉄道があるのに魅力がなくもったいない。平田町はおちょぼさんが TV で紹介され活気

問25 自由意見
づいているのがいい。海津町はよくわかりません。(高須藩の歴史などもっと紹介して下さい)三町合併したのは確かですが、この三町のくくりは必要ですか?もっと融合していかないと全く魅力ないです
遊べる所、食べる所が近くにない、みんな殆ど大垣、桑名に行く、近場で楽しくすごせる何かがあったらいいと思う
■その他
今のままでは、テレビの世界(人口減少、財政破綻)が人事でない日が来るのはそう遠くないと思う。ただ海津市は愛知県、岐阜、大垣、桑名などへのアクセスも出来、住むにはいい所だと思います。あとは生活環境の充実があれば、人口減少の改善、転入者の増加も望めると思います。現状は市外で買い物をし、兄弟2人も市外へ長男(私)、両親の3人暮らしです。住みやすい町づくりを願います。
大阪にも信州にも北陸にも同じくらいの時間で行けるのが最高の立地です。(全て3時間位で行ける)
揖斐川をはさみ、山側、田側と環境が違いすぎ2つに分けて施策対応が必要。このままでは、2兎を追って何もえられない。
地区内を子どもと散歩するのが大好きです。お年寄りに会うのが楽しみです。季節のフルーツ(金柑・サクランボ・ブルーベリーetc)をとらせていただけて、子どもも大喜びです。公園(集会所)大好きな場所です。いつも天気や自然に感動・発見です。海津ならではですかね。
おだやかでやさしい町だと思います。(岐阜市→海津 23 年ほど)我が家は同居で周りにご近所さんも居ます。今は…まだ両親も自身で車も乗りますし、何でも出来ます。もし乗れなくなっても私たちが一緒に行けます。又、町内のおばさんおじさんが病院やちょっとそこまでと言えはどうぞよかったら…なんて出来ますと思います。しかし、自身が年老いた時人にはたのみずらい。交通の便の不安…買い物。気軽に安心してたのめるサービスが町にあったら安心だなあ…。雑誌で全国住みにくい町ランキング 10 位だったと友人にききました。都会にはない何かアットホームなよさがあると良いのだけだね～。みんながそうしようと思わないとですわねー。。長々とすみません。私は雪は少ないし海津市好きですヨ。
・魅力・小さい頃から慣れ親しんだ地元であること。 ・海津市特有の文化や歴史があること、 ・不安・財政悪化による税負担の増大と、サービスの質の低下
自然が豊かで良い地域です。ただ、現代に沿ぐわない風習(主に自治会や組など)も多々あるように思います。地域の力は若者の影響が大変大きいと思いますので、インターネットによる広報など電子化できるものはそちらへシフトしていても良いと思います。如何に若者の力を集めるかが豊かな暮らしづくりを支えると思います。
海津市はまだまだ可能性をたくさん秘めた場所だと思います。その可能性をもっと広げて魅力ある市になってほしい